

酒井

#### D 小池

- 木密の更新・建替えに伴うコミュニティの変化・継承というテーマは良いと思います。
- 萱島を対象としたのもよくわかります。
- 浅井先生がおっしゃっていたように、コミュニティという言葉の意味がフラフラしていて、そのせいで全体が分かりにくくなっているのので、酒井君のいうコミュニティがどういうものか、定義して論を進める必要があると思います。難しいけど。
- 全体的に、言いたいことは分かるけど、それを示す客観的なデータが無いので、説得力に欠けます。数値化したデータとか、どこの公園にどこの子どもがどれくらい集まって遊んでいるかとか、事業前後での住民の移動を地図上で示すとか、祭りに参加した住民の住居の分布を示すとか。
- 「事業による変化（物理的な変化などのハード面と、住民の移動・流入などのソフト面）と、それによるコミュニティの変化」という視点と、「祭りがコミュニティの維持・継承や形成にどう影響しているか」という視点をごっちゃになっているように思います。整理が必要。

#### M2 浅井

- ・ 僕は話を聞いていて、よく頑張ったなと思いました。お疲れ様です。
- ・ 酒井がやった作業は、以下の3つだと理解しています。
  - ①住環境整備を自分なりに整理したこと
  - ②萱島のおまつりに参加、参与観察・ヒアリングをし、自分なりに課題を見つけた事
  - ③それをもとに住民のつきあいを4つに分類し仮説を立てたこと
- ・ そこには、「10年間で、人付き合いがどう変わってきたのか、ハレの場である萱島まつりから分析してみる」という素朴な疑問があったのではないかと思います。
- ・ 気になったのは、①論理の展開②裏付けとなるものは何か、ということです。
- ・ 具体的に言うと、住環境整備（ハード）とまつりについて（運営・プログラム・子ども参加）があまりリンクしていないように思いました。

整備で公園が○個できて、その公園沿いの道には新築が○軒、そのうち子どもが参加した家は○軒だった、とかその公園では、みこしの休憩場所になりどんな周辺住民と〜な会話がなされていた。とか
- ・ これから小論文でわかったことから自分は何が言えるのか、どうしていきたいのか、ということ整理して卒業研究を頑張って下さい！

## M2 國居

萱島への地元愛がすごく伝わってくる発表でした。酒井の人懐こさの背景には萱島のコミュニティの何かが関係していると思うので、他の地区に無いポテンシャルがあるような気がして楽しみにしています。ここで育った酒井だからわかる魅力的なコミュニティのあり方が客観的に整理できればすごく良い論文になりそう。

- ・ 萱島のたどってきた文化的な背景や歴史を、成立期頃から追って説明してもらえると、もっと魅力が伝わったのではないか。住宅整備事業に絡めて街区の変遷を地図で説明してほしい。
- ・ 酒井の言う「従来のコミュニティ」がどんなものかこの論文では説明されていない。
- ・ 木密アパート全盛期のコミュニティがすごく面白そう。現在の近隣公園コミュニティとは全然違うんじゃないでしょうか？個人的には木密アパートのプランにも興味あり。
- ・ 新築の住宅＝新住民の入居、として文章中で使われているように感じたけど、新築に旧住民が入居するパターンもあるわけで、その辺りの言葉の使い方も整理が必要だと思いました。
- ・ 酒井自身が感覚的に「こう感じている」という事項はすごく興味深いので、その感覚的なポイントをアンケートやヒアリングで数値的に検証できれば説得力が出て面白い論文になるんじゃないかと思いました。